



No. 343

令和4年1月号

茂原市教育委員会  
茂原市青少年指導センター  
〒297-0023  
茂原市千代田町2-8-20  
相談電話 0475-22-0080  
一般電話 0475-22-4466  
FAX 0475-22-0080

## 犯罪が起こらない地域づくりのためにできること

青少年指導センターでは、児童生徒の安全を守る活動の一環として、不審者対応に関する訓練や講話を行っています。茂原市内では、今年度も不審者情報が寄せられてきており、注意が必要な現状です。昨年12月には、市内の学童クラブと中学校から依頼を受け、不審者対応について児童生徒と職員の方にお話をさせていただきました。自分の命を自分で守る方法を学ぶことで、日頃からいざという時のために備える危機意識を高めることができたように感じました。

地域の防犯対策として、犯罪が起こりそうな場所を作らないために地域全体で美化作業を行ったり、集団で防犯パトロールを行ったりすることが効果的であると言われています。こういった活動により、地域のつながりを強くすることでも犯罪を抑止しますが、児童・生徒のみなさんが、先生方や友達にしている「あいさつ」もまた地域のつながりを強め、防犯対策となります。

「あいさつ」には、近所や地域の住人とのコミュニケーションの機会をつくり、つながる効果が期待できます。そして周囲とつながることによって、地域のつながりが形成され、地域に関するチェック機能がはたらくようになります。



このチェック機能こそが犯罪抑止に効果を発揮します。犯罪を行おうとする不審者は事前に現場の下見をするそうです。警視庁の調査によれば、この下見の時に犯行をあきらめた理由で多いのが、「近所の人に声をかけられたり、ジロジロみられたりした」とのことでした。

大切なことは地域が一体となって不審者を寄せ付けない意識や雰囲気を作っていくことです。また、防犯という観点だけでなく、地域のつながりは暮らしやすい街づくりのためには欠かせません。青少年の皆さんも登下校や遊びに行くときに、まずは自分から「あいさつ」をして、地域とのつながりを作っていきましょう。

～「いかのおすし」を実践しよう～



いか

たとえどんな優しそうな人でも、どんなことを言われても、知らない人に、ついていかない



の

怪しいと思ったら、車の進行方向とは逆へ逃げる。  
知らない人の車に、絶対に乗らない



お

危ないときは、大きな声や防犯ブザーで助けを呼ぶ。  
おおごえを出して助けを呼ぶ



す

近くにあるお店や大人に助けを求める。  
安全なところまですぐ逃げる



し

怖い思いをしたら、保護者に伝える。  
すぐにおうちの人に知らせる





# 『あなたをささえます』

【一生を笑顔で暮らせる願いを込めて・・・】



## 青パト通信 ~各中学校区で研修会を実施しました~

茂原市青少年補導員連絡協議会では、毎年約70名の方に協力していただき、街頭補導をはじめとした地域の見守り活動を行っています。よりよい見守り活動を行うために、中学校区別の補導員が集まり、研修会が開かれました。研修会では、地域の青少年の様子について情報交換をしたり、今日の児童生徒が抱える課題や状況について講師の方を招いてお話を聞いたりしました。

自転車の良くない乗り方や不審者対策などの課題は挙がりましたが、元気に挨拶をしてくれる児童生徒の姿が多く見られるという良いお話も聞くことができました。



### 青少年の補導・相談状況 不審者情報 令和3年11月20日～12月17日まで掲載

《青少年の補導状況》 24人

自転車の乗り方
24人

《青少年の相談状況》 2件

家庭生活	学校生活
0件	2件

- ・車の通りが少ない道での並進が目立ちました。一列になって登下校しましょう。
- ・横断歩道を渡る時には、自転車からいったん降り、左右をよく確認し渡りましょう。

《不審者情報》 2件

月/日	時間	場所	概要
12/ 1	16:10	東郷	車の中から液体をかけられた。
12/16	18:00	高師	車の中から液体をかけられた。

- ・困ったことがあった際には、すぐに近くの大の人の人に助けを求めましょう。

不審者情報については、茂原市HP「わが街ガイド」に掲載しています。



### ◆ 相談窓口 ◆

悩んだら 悩み始めたら 話してすっきり 1人で悩まないで！  
家庭生活 学校生活 いじめ 不登校 非行 何でも相談してください。

茂原市青少年指導センター相談窓口

○ 電話相談 0475-22-0080

○ メール相談

seishonen@city.mobara.chiba.jp

